

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成25年10月19日 NO.23

ドングリゲットレンジャー登場！

10月16日（水）。台風26号の接近で学校が休校になりました。朝から出勤の先生たちは、この日とばかり、山積みされているお仕事を丁寧に処理しておりました。そこに、森田校長が通りかかり、「今日の風でドングリがいっぱい落ちただろうなあ」の一言・・・。

そこで、子ども達の拾ってきたドングリではちょっと少なめなので、生活科の授業を心配していた低学年の先生達を中心にドングリゲットレンジャー隊が結成されました。その面々とは、コナランジャー、クヌギンジャー、シラカシンジャー、マテバシインジャー、シイノミンジャーの5人の勇士です。昼食後に颯爽と自転車に飛び乗り、いざ！目的地であるSさん宅や市役所前の並木を目ざしてまっしぐら！数百個のドングリを拾い集めた5人のドングリゲットレンジャー勇士は、子ども達の喜ぶ姿を想像し、にっこりにんまりのご様子。きっと楽しい生活科の学習活動ができることでしょう。



1年生のドングリ駒遊び

10月17日（木）。ドングリゲットレンジャーの勇士の面々が拾い集めたクヌギやマテバシイの実を使い、1年生がドングリごま遊びを行いました。1年生では、キリが上手に使えず少し危ないので、前日に担任の先生が一つ一つのドングリに丁寧に穴を開けておきました。そのおかげで、すぐにドングリごまを完成させることができ、みんなにこにこ顔で大喜び。「うわあー！よくまわるぞ！」「ぼくはまわすのがうまいんだ。見て見て！」と誇らしげな子ども達。ドングリの実のもつ丸い感触や、かすかに残る土の香りなどを味わいながら、楽しい生活科の授業を行うことができました。



1年生の子ども達と100年の森づくり

10月17日（木）。中休みに1年生の有志の子ども達と5種類のドングリを蒔きました。もちろんそのドングリとは、前日にドングリゲットレンジャーが拾い集めたものの残りです。休日に校長先生が園芸店からもらってきた黒い園芸用バットに蒔きました。まず、下の方には校庭の砂利を入れて水ハケをよくし、その後草花栽培用の土を10cm程入れました。水をまいて少し土を落ち着かせ、ドングリを上から落とし出来上がり。最後に土をふりかけのように蒔いて完成です。



1年生の子ども達が6年生になる頃には、2～3m程の苗木に育っていることでしょう。そして、約15年後には立派な大木となり、シイタケの原木になったり、炭づくりを楽しんだりすることができるでしょう。ずうっとずうっと先のお話ですが、みんなでその日を楽しみにしていきましょう。